

令和2年度

# 基金決算のお知らせ

7月20日に開催されました第10回代議員会において、当基金の令和2年度の決算および財政検証結果が承認されましたので、その概要をお知らせいたします。

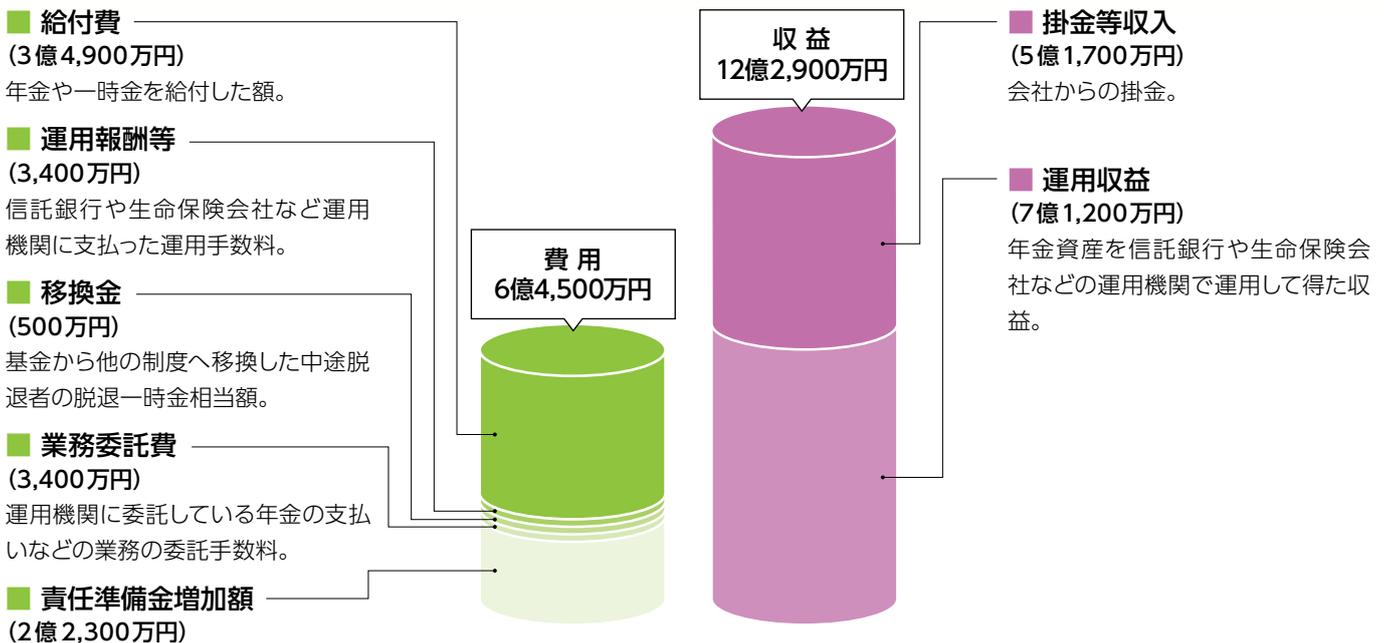
## 年金経理

年金の給付や掛金のうけ入れ、年金資産の管理運用などを行う経理です。

### 1年間の収支状況

(損益計算書:経常収支・負債の変動)

基金の主な収入源である掛金、支出である年金・一時金の支払いのほか、年金資産の運用損益などの1年間の収支を明らかにしています。

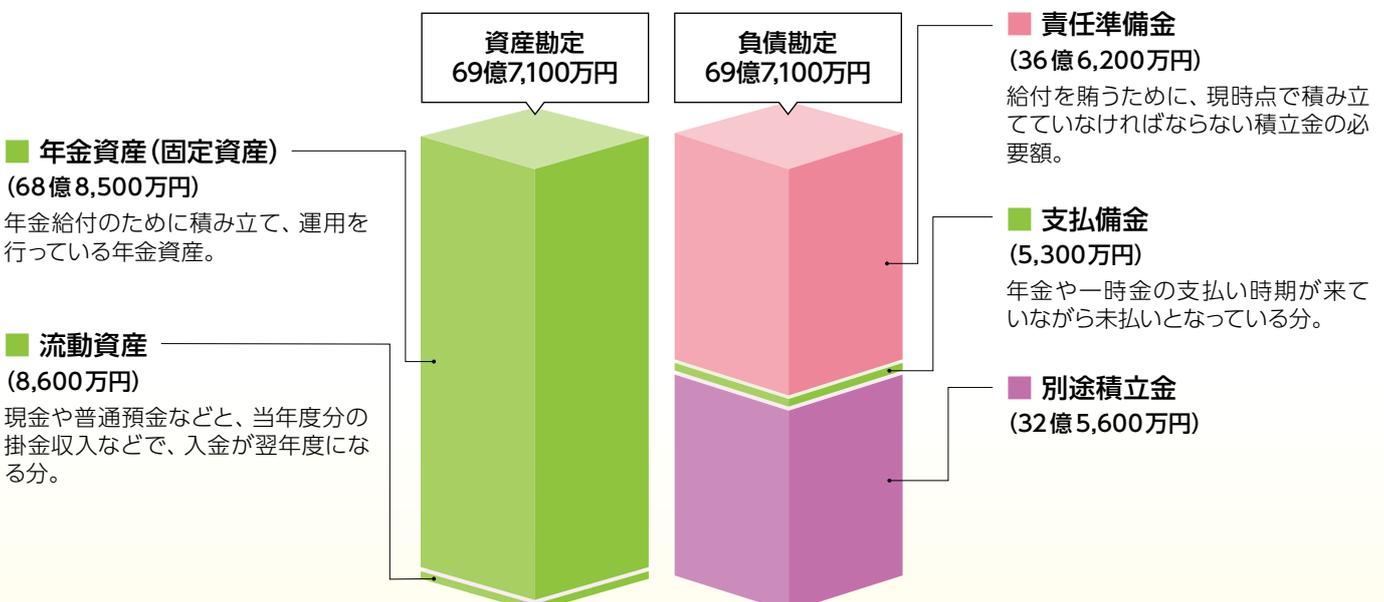


### 資産と負債のバランス

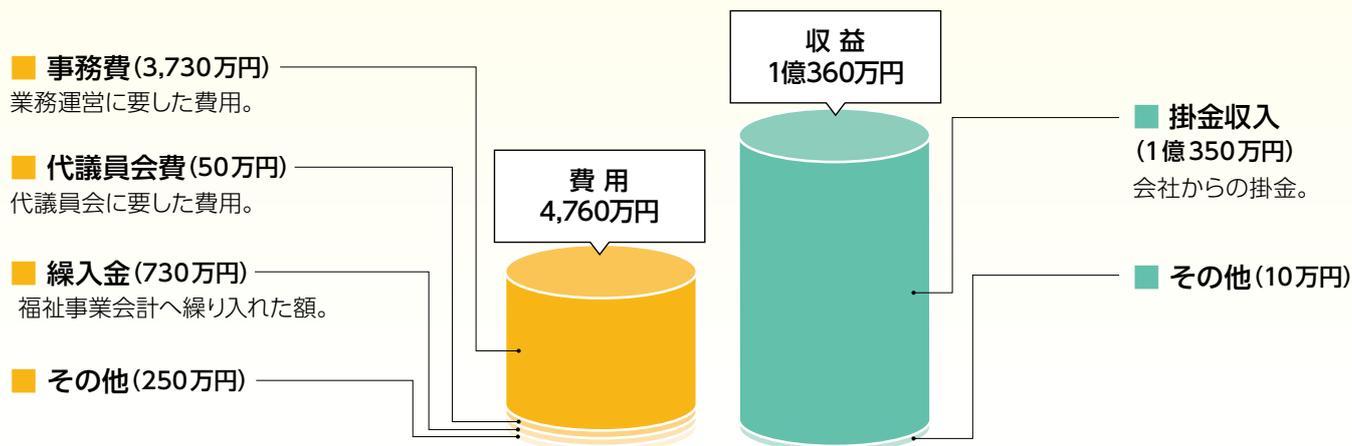
(貸借対照表)

年度末において、実際に保有する年金資産と、将来の年金給付のために積み立てておくべき資産(責任準備金)を比較し、基金財政が健全に推移しているかをチェックします。

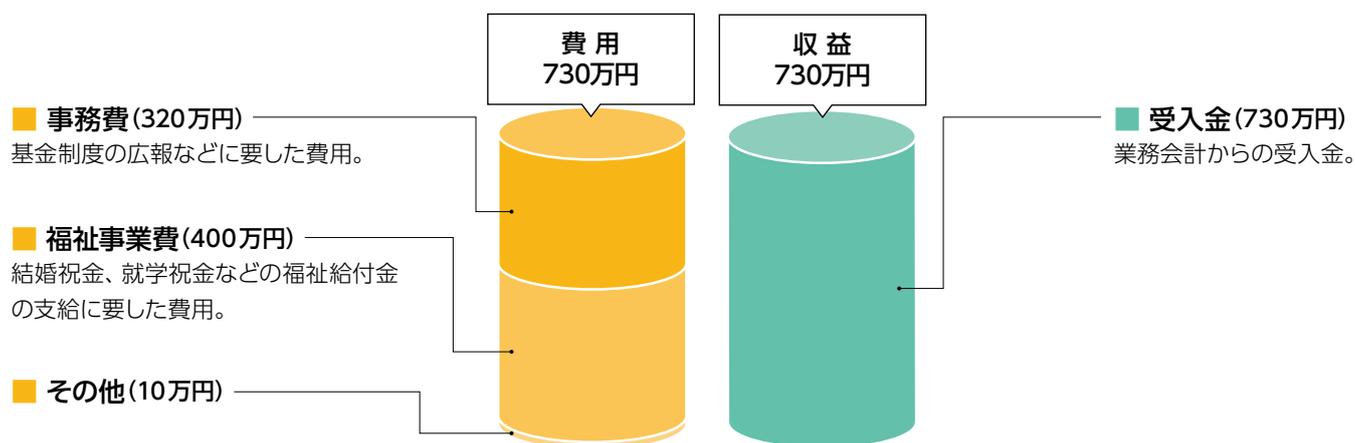
■ 純資産：(固定資産+流動資産) - (流動負債+支払備金) ■ 負債 ■ 基本金



## 業務経理 業務会計 基金を運営するための経費を処理する会計です。



## 業務経理 福祉事業会計 福祉事業を行う会計です。



### 基金では財政検証を実施しています

基金では、加入者・受給（権）者の皆さまの受給権保護のために、決算期ごとに年金資産の積立状況を2つの方法（継続基準、非継続基準）で検証しています。検証の結果、基準値をクリアしていない場合は、積立計画の見直しが必要になります。

#### 継続基準

将来の給付のために保有しておくべき年金資産（責任準備金）が、計画どおりに積み立てられているかを検証します。

$$\frac{\text{純資産額}}{\text{責任準備金}} = 1.88 \text{ (基準値: 1.0以上)}$$

#### ●検証結果

純資産額が責任準備金を上回っており、基準値をクリアしています。年金資産は順調に積み立てられており、掛金の見直しを行う必要はないことが確認されました。

#### 非継続基準

現時点で基金が解散したと仮定した場合、加入者・受給（権）者の加入期間に応じた給付に必要な資産（最低積立基準額）を保有しているかを検証します。

$$\frac{\text{純資産額}}{\text{最低積立基準額}} = 2.55 \text{ (基準値: 1.0以上)}$$

#### ●検証結果

最低積立基準額に対する純資産額の割合が、基準値1.0を上回っており、基準値をクリアしています。積立水準を確保するための措置を行う必要はないことが確認されました。



## 当基金の資産運用結果のお知らせ



令和2年度における当基金の年金資産運用の利回りは11.53%となりました。今後も市場の動向を注視しつつ、適切なリスク管理の下、安全かつ効率的な運用と収益の確保に努めてまいります。

## ■ 運用機関別委託割合・委託額

(令和3年3月31日現在)

運用機関		委託割合	委託額 (百万円)	
信託銀行	三菱 UFJ 信託	自社運用	35.5%	2,447
		外部提携	30.4%	2,094
	三井住友信託	外部提携	10.5%	723
	りそな銀行	自社運用	1.8%	127
	みずほ信託	外部提携	10.1%	693
生命保険会社	第一生命保険	自社運用	11.6%	801
合計		100.0%	6,885	

## ■ 令和2年度末 資産構成割合

国内債券 (842百万円) 12.2%	国内株式 (633百万円) 9.2%	外国債券 (940百万円) 13.6%	外国株式 (970百万円) 14.1%	一般勘定 (668百万円) 9.7%	オルタナティブ (2,719百万円) 39.5%
その他 (113百万円) 1.7%					

## ■ 当基金の年金資産管理運用委員会の活動報告

当基金では、年金資産の運用基本方針、政策アセットミックスの策定、資産運用を委託する運用機関の選定や評価などについて検討する「年金資産管理運用委員会」を設置しています。令和2年度は、右記の議題等について検討しました。

## 【主な検討内容】

- 新ファンドの追加採用について
  - 令和3年度年金資産運用計画について
- なお、同委員会資料は当基金ホームページの会員専用ページに掲載していますので、会員の方はいつでも閲覧できます。

## ■ 運用の基本方針 (概要)

目的	当基金の年金給付および一時金の支払いを将来にわたり確実にを行ううえで必要とされる積立金を確保するために、運用収益を長期的に確保することを目的としています。
目標	将来にわたって健全な年金制度運営を維持するために必要な年金財政上の予定利率を目標とし、これを長期的に上回ることをとしています。
資産構成	運用目標を達成するため、運用資産の期待収益率、リスク、相関係数等を考慮し、長期的観点から政策的資産構成割合（政策アセットミックス）を定めています。

## &lt;参考&gt; 令和2年度の市場動向

国内外株式は、上期は経済活動の再開や各国政府の財政政策、金融緩和策を背景に、大幅な上昇となりました。期末にかけては、新型コロナウイルス感染症が再び感染拡大する一方、ワクチン普及への期待感、財政政策や金融政策の継続により、上昇が続きました。一方、国内債券はやや低下基調、外国債券はほぼ横ばいで推移しました。

## 【市場の収益率】

令和3年3月31日現在

		令和2年度	令和元年度
国内	債券 (NOMURA-BPI)	△0.70%	△0.18%
	株式 (TOPIX + 配当)	42.13%	△9.50%
外国	債券 (FTSE WGBI、円換算後)	5.43%	4.37%
	株式 (MSCI kokusai、円換算後)	59.79%	△12.42%

(資料) 企業年金連合会ホームページ



# 当企業年金の現況を お知らせします

## 鹿児島県病院企業年金基金の業務概況

### 1. 制度の概要について

(2021年3月31日現在)

#### 給付の設計

加入者期間	支給要件		給付種類	給付の内容	支給時期
	年齢	事由			
3年以上 10年未満	—	退職	脱退一時金	一時金	即時
		死亡	遺族給付金		即時
10年以上	60歳未満	退職	脱退一時金	一時金	即時
			老齢給付金	確定年金（又は一時金）	60歳（繰り下げ後65歳）
	60歳以上 65歳未満	退職	老齢給付金	一時金	即時
				確定年金（又は一時金）	即時（繰り下げ後65歳）
	65歳	退職	老齢給付金	確定年金（又は一時金）	即時
65歳超	退職	老齢給付金	確定年金（又は一時金）	繰り下げ後退職時	
—	—	死亡	遺族給付金	一時金	即時

#### モデル給付額 22歳新規加入（加入者期間、給付期間とも、想定利回り2.0%の場合）

(単位：円)

給付の種類	加入者 期間	年金給付額（60歳支給開始）				一時金 (退職時)
		5年確定（年額）	10年確定（年額）	15年確定（年額）	20年確定（年額）	
脱退一時金	5年					242,500
老齢給付金	10年	102,200	53,600	37,500	29,500	481,400
	15年	160,500	84,200	58,900	46,300	756,200
	20年	226,900	119,100	83,300	65,400	1,069,100
	30年	386,300	202,700	141,700	111,400	1,820,500
	38年	542,200	284,500	198,900	156,300	2,555,500

## 2. 2021年3月期(2020年4月~2021年3月) 決算状況について

(2021年3月31日現在)

### 加入者数

加入者(人)	10,777
--------	--------

### 給付の状況

		件数	金額(円)
老齢給付	年金	2,396	61,959,026
	一時金	334	52,877,100
脱退一時金		655	128,545,900
遺族給付	一時金	16	6,102,400

### 年金受給者数

老齢給付(人)	2,396
---------	-------

### 掛金の徴収状況(納付時期:毎月月末)

(単位:円)

種類	規約上掛金率	納付決定額①	納付済額	不納欠損額	未納額②	②/①
標準掛金	1.4%	482,437,872	482,437,872	0	0	0.0%
特別掛金	0.1%	34,459,848	34,459,848	0	0	0.0%
事務費掛金	0.3%	103,379,544	103,379,544	0	0	0.0%
合計	1.8%	620,277,264	620,277,264	0	0	0.0%

## 3. 年金給付等積立金の積立概況

(2021年3月31日現在)

### 貸借対照表(基本金処理後)

(単位:千円)

資産勘定		負債勘定	
純資産額	6,917,821	責任準備金	3,661,647
		別途積立金	3,256,174
合計	6,917,821	合計	6,917,821



## 4. 財政の検証状況について

(2021年3月31日現在)

- 継続基準の財政検証** 企業年金の財政運営を継続するうえで年金資産が計画どおり積み立てられているかを検証します。
- 非継続基準の財政検証** 制度を終了すると仮定した場合に、加入者および受給権者等に対して保全すべき給付を支給するために必要な年金資産が確保されているかを検証します。
- 積立超過の財政検証** 企業にとって損金算入される掛金を必要以上に払い込み続けるのは税務上問題があるため、年金資産額が積立上限額を超えていないかを検証します。

(単位:千円)

区分	当基金の水準	基準値	判定
継続基準	純資産額 責任準備金 = 1.88	1.00以上	○
非継続基準	純資産額 最低積立基準額(2,709,847) = 2.55	1.00以上	○
積立超過	数理上資産額 ≤ 積立上限額 (6,917,821) (9,536,661)		○

それぞれにおいて基準を上回っているため、掛金見直しの必要はありません。

## 5. 年金給付等積立金の運用の概況

(2021年3月31日現在)

2021年3月期(2020年4月～2021年3月)の運用利回りは+11.53%となり、運用収益は+712百万円となりました。

### 運用収益または運用損失

(単位：百万円、%)

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
運用収益・損失額	-7	-175	712		
利回り	-0.11%	-2.81%	11.53%		

### 資産別残高および資産構成割合

(単位：百万円、%)

	国内債券	国内株式	外国債券	外国株式	短期資産	オルタナティブ	一般勘定	資産合計
時価総額	211	795	1,667	892	114	2,537	669	6,885
構成割合	3.1%	11.5%	24.2%	13.0%	1.7%	36.8%	9.7%	100.0%
備考	受託機関：三菱UFJ信託銀行、三井住友信託銀行、みずほ信託銀行、りそな銀行、第一生命保険							

### 政策アセットミックス

(単位：%)

	国内債券	国内株式	外国債券	外国株式	短期資産	オルタナティブ	一般勘定	資産合計
構成割合	12.0%	9.0%	13.0%	14.0%	2.0%	40.0%	10.0%	100.0%

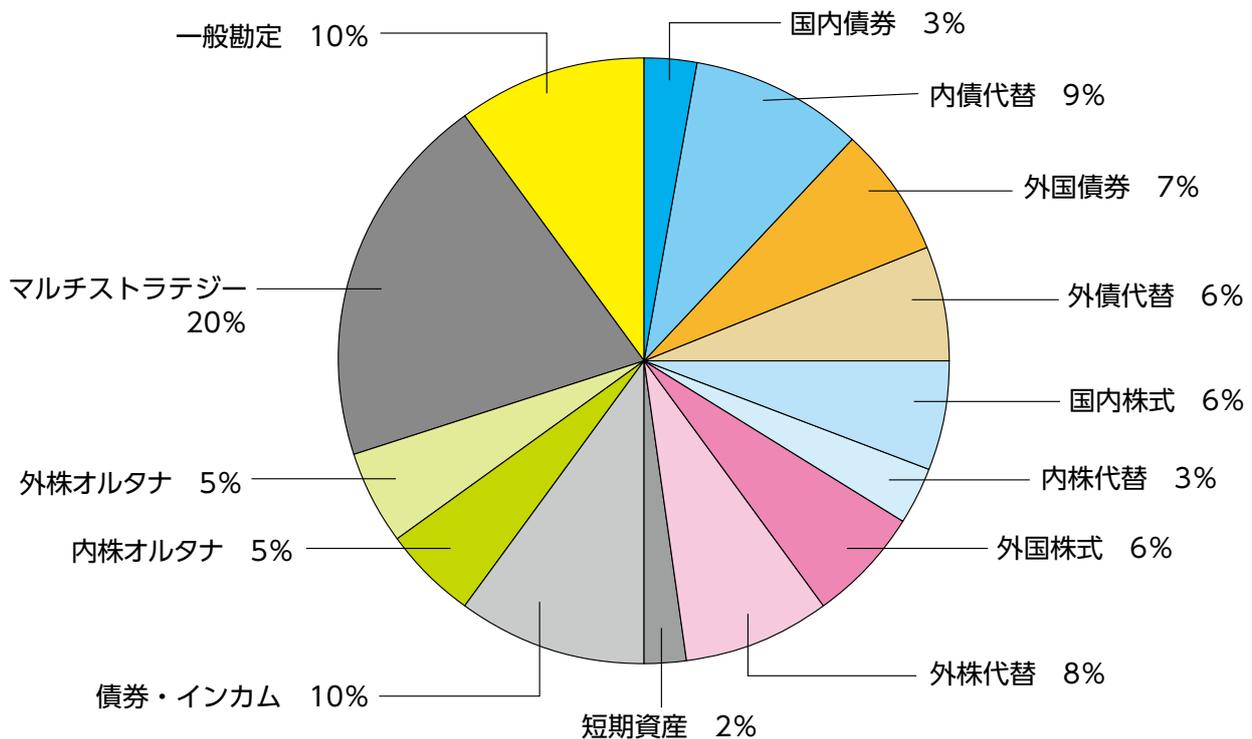
## 6. 運用の基本方針について

(2021年3月31日現在)

鹿児島県病院企業年金基金では次の方針に基づいて積立金を運用しています。

運用の基本方針（概要）	
目的	当基金の年金給付および一時金の支払いを将来にわたり確実にを行ううえで必要とされる積立金を確保するために、運用収益を長期的に確保することを目的としています。
目標	将来にわたって健全な年金制度運営を維持するために必要な年金財政上の予定利率を目標とし、これを長期的に上回ることをとしています。
資産構成	運用目標を達成するため、運用資産の期待収益率、リスク、相関係数等を考慮し、長期的観点から政策的資産構成割合(政策アセットミックス)を定めています。
年金資産管理運用委員会	リスク管理状況、運用受託機関の選定および評価、運用業務に係る遵守事項等をチェックする目的で、年2回以上開催しています。議事内容については開催の都度ホームページに委員会資料を掲載しています。

## 2021 年度政策アセットミックス (内訳)



- 国内債券
- 内債代替
- 外国債券
- 外債代替
- 国内株式
- 内株代替
- 外国株式
- 外株代替
- 短期資産
- 債券・インカム
- 内株オルタナ
- 外株オルタナ
- マルチストラテジー
- 一般勘定

※当基金の規約、運用の基本方針、代議員会資料、年金資産管理運用委員会資料等は、ホームページに掲載しておりますので、会員の皆さまは常時閲覧することができます。また、年金資産の運用状況、給付実績については月次で更新しておりますので、最新の状況をご確認いただけます。

### 鹿児島県病院企業年金基金 ホームページ

閲覧範囲を会員の皆さまに限定しているページへのログインに必要なユーザー名、パスワードです。

ユーザー名	usrkkikin	パスワード	bikikn2288
-------	-----------	-------	------------

